

『大人旅を探しに』



ワイン・ツーリズムという言葉を目にしたことはありますか？

ワイナリーを巡り、そのつくり手と触れ合い、そのワインが生まれた土地を散策することで、その地の食や文化を存分に味わう旅の提案です。

ワインぶどうの主要な産地では、季節の折々に様々なワイン・イベントが開催されていますが、そうした賑やかな場所からは少し距離を置いた、自分たちの年代に相応しい旅を探してみませんか？

「社友会だより」を読んでいる方にご利用を頂いている“健保保養所”の一つである「総合センター」は長野県飯綱町にあります。

飯綱町は、長野県内4大ワインバレーの中でも最大面積を誇る「千曲川ワインバレー」に属し、「総合センター」の近隣には、実は、大小のワイナリーがあり、ワイン用ぶどうの産地巡りを楽しむことができます。

なかでも筆者のお薦めは、総合センターから車で20分ほどのところにある「サンクゼールワイナリー」です。北信五岳の一つ飯綱山の東麓、標高600m、のどかな風景が見渡せる丘の上に、ワイン用ぶどう畑、ワイナリー、ジャム工房、レストラン、シャトー、チャペルがある、まるで一つの村のようなワイナリーです。北信地域の富士通グループの女性からも「結婚式をあげるならここで！」と言われるほどの美しいロケーションです。



「いい土から、いいぶどうができると、化成肥料を使わず、有機肥料で土づくりをする。」こだわりのワインができるまでの遥かな物語を作り手から直接伺いながら、ぶどう畑や醸造の見学ができるワイナリーツアーが、無料で通年実施されているほか、4月～11月の期間は、有料の「トワイライト・ヴィンヤードツアー」と「アカデミック・ヴィンヤードツアー」が開催されています。

筆者は、ぶどうの花が咲く6月に「アカデミック・ヴィンヤードツアー」、青い実をつける7月に「トワイライト・ヴィンヤードツアー」に参加しました。

どちらも、少人数で“ゆっくりゆったり”と時間をかけてぶどう畑を巡り、自分のお気に入りが見つかるまで“じっくり”とワインの試飲を楽しむことができました。



時間の融通のきく「社友会」世代へは、混雑を避け、静かな平日に旅のプランニングをすることをお薦めします。飯綱の四季折々の自然の恵みをじっくりと堪能して下さい。

最後に、そんな皆様への朗報です。総合センター内のレストラン「プルミエ」では、毎月20日、ワイン、スパークリングワイン、シャンパンが定価の半額で提供されています。

ワイン・ツーリストとして、千曲川ワインバレーを満喫した後は、総合センターの自慢のフレンチと極上ワインで仕上げ。大切の方々をお誘いあわせのうえ是非。